

# 第5分科会

## 学習分科会

### 学ぼう、しゃべろう、くらしと憲法

憲法9条と25条から考える私たちのくらし

助言者 宮瀧 交二 大東文化大准教授  
東野・憲法九条の会

司 会 保坂フミ子

記 録 箕輪愛子



### 〈自己紹介の中で〉

- ・ 今、働いているが、中学生位の時から将来は休暇もあって、映画や演劇を見る機会もあってと思っていたが、休めないし、臨時で給料の格差もあり、二人で働いても少しも余裕のない生活で、自分の思っている25条の生活ができているかなどと考えてしまう。
- ・ 高校1年生の娘がいる。夏休みの宿題に9条と集団自衛権について学習する内容があった。もう少し学びたい。
- ・ 新座町の時代から新座に住んでいる。戦争に行き、辛酸をなめてきた。二度と戦争はおこしてはならないとの思いでいる。
- ・ 戦後ひき上げてきた。憲法について学びたい。
- ・ 少しでも住み良いまちにしていきたい。そのためには、自然緑を守ることも大事で、その手助けをしている。

### 〈助言者〉

- ・ 憲法25条と憲法9条は、私達が生きていく上ですべてにかかわることで、セットにして考えるべきだと思います。  
新座市政・県政・国政とつなげてみていくことが大事で、憲法25条にてらしてみても、自分達の税金の使い道についても、もっと理解して、主張していかなければならない。  
この10年間の間に、上田知事になって、歴史史料館や県立図書館が民間委託や統廃合され、保健所も減らされている。

### (資料)

- ・ 国の借金(2009.6)860兆2557億円  
1人あたり674万円
- ・ 埼玉県の借金(2009.3)3兆668億円  
1人あたり43万8000円(700万県民)
- ・ 平成14年(2002)
- ・ サッカーW杯さいたまスタジアム800億円(サッカー専用スタジアム 年間50日位しか使われない)  
毎年の運営経費7億円、収益は3億円(年間4億円の赤字)
- ・ SKIPシティ(川口に建設)356億円
- ・ さいたま新都心1兆3500億円(うち県債2300億円新たに借金、貸ビル・テナント使用料が入らない。)
- ・ ふるさと再生基金は3900万円

- ・保育所一待機児増加にもかかわらず、2300万円
- ・平成16年(2004)
- ・まごころ国体(231億円)熊谷につくられた。
- ・さいたまスーパーアリーナ689億円(県債626億円)

### 〈助言者〉

- ・埼玉県では、福祉・教育を削ってスーパーアリーナやスタジアムを建設。県立高校も6校、統廃合案がでていて、教育の格差が増々広がる。このことから憲法25条からみても逆行という状況。
- ・教育や医療の格差も生じてきていて、大学でも経済的に立ちゆかなくなる家庭も増えていて、学ぶ権利も奪われつつある。公立の大学であっても、ビーカーも買えず、牛乳ビンを使っているとか、学生が食事の時にトイレで食べる(自分のものを見られたくないので)とか悲しい現実もおきている。私達一人々が25条とは何かをしっかりと学び考え、主張すべきところは積極的に主張し、行動していかなければと思います。

### 〈参加者の意見〉

- ・建設関係の仕事をしているが、景気が左右され、見通しが持てない。埼玉スタジアムやスーパーアリーナなど、大手ゼネコンに仕事が回され、身近にある学校や道路をなおすとかにも仕事がこない。新座でも、新座駅周辺に約130億円もかけるというが、地元には仕事がこないのが現状。
- ・税金の使い道をしっかりと見ていって、議会も傍聴し、要望していく必要があると思う。
- ・日本では、子どもの教育は個人の責任と言われてきた。欧米では国の責任としてとらえるところが多い。

### 〈助言者〉

- ・平和憲法を守ろう、とりわけ9条を守ろうという声は広がりつつあるが、注目していかなければならないのは、二大政党制の中で、改憲では一致している。また、民主党は比例定数削減を打ち出していて、このような中で、少数派の意見が尊重されるのか、大変疑問。若い人々に情報を与えていくことが必要だと思います。

### 〈参加者の意見〉

- ・ 東京の千鳥が淵に太平洋戦争において海外で戦病死した将兵で引きとり手のない遺骨を埋葬している墓地があります。その説明文によれば、フィリピン派遣軍の戦病死者は52万人で、そのうち26万人は64年経った今なお、山野に遺骨が晒され、収容されていないとのこと。自分は戦地に行つて戦争の地獄絵図を見て悲惨さを目のあたりにし、生き残った者として、二度と戦争をおこしてはならないと微力ながら訴えている。
- ・ 9条は大事と思つていても、戦争をしかけられたらどうするかとか、集団自衛権は?などと考えてしまう。
- ・ 日本が軍備を強化し、軍事的脅威になったとき、他国をおびやかすから脅威になるとされている。(アメリカを中心とした軍事同盟の脅威)。核をはじめ軍縮の方向に行けば、おそわれることはないと思う。
- ・ 憲法を変えようとする勢力に対してきつちりと見ていかなければならないと思う。また、世代交代していく中で、戦争を知らない人々が多くなっている現状がある。戦争体験された方々が後世に伝えていく。その機会を持つ努力をしていかなければと思う。

### 市への要望事項

1. 資料館など、よりよい文化施設の充実と、小・中学校などの教育環境の充実をはかってください。
2. 必要な公共事業を見きわめて、事業の実施に際しては、地元業者に仕事を優先してください。
3. 小・中学校における広島・長崎への修学旅行を実施するようにしてください。
4. 地域に在住する戦争体験をされた方々のお話を聞く場を設けるなどしてください。